

《担当者名》 志水 幸 koh@hoku-iryo-u.ac.jp 川勾 亜紀奈(非) 熊谷 良介(非)

【概要】

現代社会における社会保障にかかる諸制度や体系、財政の仕組み等を理解し、諸外国の社会保障制度の理解のもとでわが国の社会保障の課題や今後の在り方について考える。

【学修目標】

- 社会保障の概念や対象およびその理念を説明できる。
- 現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について説明できる。
- 社会保障制度の財政について説明できる。
- 公的介護保険制度と民間保険制度の関係について説明できる。
- 社会保障制度の体系と概要について説明できる。
- 諸外国における社会保障制度を概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション 現代社会における社会保障制度の現状	私たちの生活と社会保障の現状について概説できる 人口動態の変化について説明できる	熊谷
2	現代社会における社会保障制度の現状	経済環境、労働環境の変化について説明できる	熊谷
3	現代社会に内在する複合的課題	女性、子ども、若者の貧困問題について概説できる	熊谷
4	現代社会に内在する複合的課題	高齢期、障害児者の貧困問題について概説できる	熊谷
5	社会保障の概念や対象及びその理念	社会保障の概念と範囲について説明できる。	熊谷
6	社会保障の概念や対象及びその理念	社会保障の役割と意義について説明できる。	熊谷
7	社会保障の概念や対象及びその理念	社会保障の理念と対象について説明できる	熊谷
8	社会保障の概念や対象及びその理念	社会保障制度の歴史的変遷について説明できる。	熊谷
9	社会保障と財政	社会保障財源、社会保障給付費、国民負担率について説明できる。	志水
10	社会保障と財政	社会保障と経済の連関について説明できる。	志水
11	社会保険と社会扶助の関係	保険と扶助の理論、原理的な区分について説明できる	熊谷
12	社会保険と社会扶助の関係	社会保険と社会扶助の特徴と相違を説明できる	熊谷
13	公的保険制度と民間保険制度の関係	民間保険の種類について説明できる。	熊谷
14	公的保険制度と民間保険制度の関係	公的保険制度と民間保険制度の共通点と違い、関係について概説できる。	熊谷
15	諸外国と日本の社会保障	福祉レジームを概説できる。	熊谷
16	社会保障制度の体系 /年金保険(1)	年金保険制度の概要について説明できる	川勾
17	社会保障制度の体系 /年金保険(2)	国民年金について説明できる	川勾
18	社会保障制度の体系 /年金保険(3)	厚生年金について説明できる	川勾
19	社会保障制度の体系 /年金保険(4)	企業年金と個人年金について説明できる	川勾
20	社会保障制度の体系 /労働保険(1)	労災保険制度について説明できる	川勾
21	社会保障制度の体系 /労働保険(2)	雇用保険制度について説明できる	川勾

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
22	社会保障制度の体系 /医療保険(1)	医療保険制度の概要について説明できる	川勾
23	社会保障制度の体系 /医療保険(2)	被用者保険について説明できる	川勾
24	社会保障制度の体系 /医療保険(3)	国民健康保険について説明できる	川勾
25	社会保障制度の体系 /医療保険(4)	後期高齢者医療制度について説明できる	川勾
26	社会保障制度の体系 /介護保険・公的扶助	介護保険制度と生活保護制度について説明できる	川勾
27	社会保障制度の体系 /社会手当	社会手当制度について説明できる	川勾
28	社会保障制度の体系 /社会福祉	社会福祉制度について説明できる	川勾
29	諸外国における社会保障制度	先進諸国の社会保障制度の歴史と概要について説明できる	川勾
30	諸外国における社会保障制度	社会保障制度の国際比較	川勾

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- (1) 前期中間テスト(50%)、後期定期試験(50%)の総合100%で評価し、60点以上を単位認定の最低条件とする。
- (2) 社会福祉士国家試験科目であるため、評価は厳格に行う。
- (3) 学則の規程に基づく出席条件をクリアすること。ただし、成績評価には加味しない。

【教科書】

以下のテキストを使用するので、初回講義時までに必ず購入すること。

編著者/一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟『社会保障』中央法規出版

【参考書】

「厚生労働白書」 厚生労働省のHPよりダウンロード可

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「社会保障」に該当する。
また、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「人間と社会」の領域における「社会の理解」に該当する。
教職課程（公民）では、教科に関する科目の「社会学、経済学（国際経済を含む。）」に該当する。

【学修の準備】

- (1) 日常的にニュースや新聞等のマスコミで報道される社会保障関係の情報をチェックし、社会情勢についても関心を持つこと。
- (2) 次回の授業で扱う内容について、キーワードを確認し、事前にテキストを読んでおくこと（所要時間45分～90分程度）。
- (3) 授業で提示する事前・事後課題(所要時間45分～90分程度)の学習を行うこと

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2

【実務経験】

川勾 亜紀奈（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

日々の生活をするうえで不可欠な社会保障の仕組みや各種制度に関する基本的知識を講義する。